

広島西部山系砂防事務所
記者発表・配付資料

記者発表資料 配付日時	令和2年6月9日 14:00 配付
----------------	----------------------

■ 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成26年8月広島豪雨土砂災害からの復興状況
～報道関係者向け現場開放のお知らせ～

国土交通省広島西部山系砂防事務所では、平成26年8月20日に発生した広島豪雨土砂災害からの復興を目指して30溪流40基の砂防堰堤の整備を進めてきました。

流路等の工事が一部残っているものの、砂防堰堤40基全てで堰堤本体が完成し、梅雨時期を前に土砂を止める機能が確保されています。

この度、完成間近の303溪流土石流堆積工内を報道関係の皆さまに下記のとおり現場開放し、平成26年8月豪雨からの復興状況の説明を行います。

今回の現場開放は、土石流堆積工内に近づける最後の機会となります。

記

とき：令和2年6月17日（水） 10:30～11:30

ところ：広島市安佐南区八木3丁目 小原山川（303溪流）工事現場

※注意事項

1. 説明場所・駐車場は現場内に用意しています。（別紙参照）
2. 工事現場内の車両通行にあたっては交通誘導員の誘導にしたがってください。
3. 工事現場内では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、身体的距離の確保をお願いします。
4. 取材を希望される方は、6月16日（火）までに連絡をお願いします。

平成26年8月広島豪雨土砂災害に係る砂防事業の進捗については、HPにも掲載していますのでご覧ください。

<HP> http://www.cgr.mlit.go.jp/hiroshima_seibu_sabo/

<Twitter> https://twitter.com/mlit_hirosuna

<問い合わせ・連絡先>

国土交通省 中国地方整備局

広島西部山系砂防事務所 082-212-1010（代表）

【担当者】 副所長（技術） くにとき 國時 正博

地域防災調整官 かわむら 河村 昭



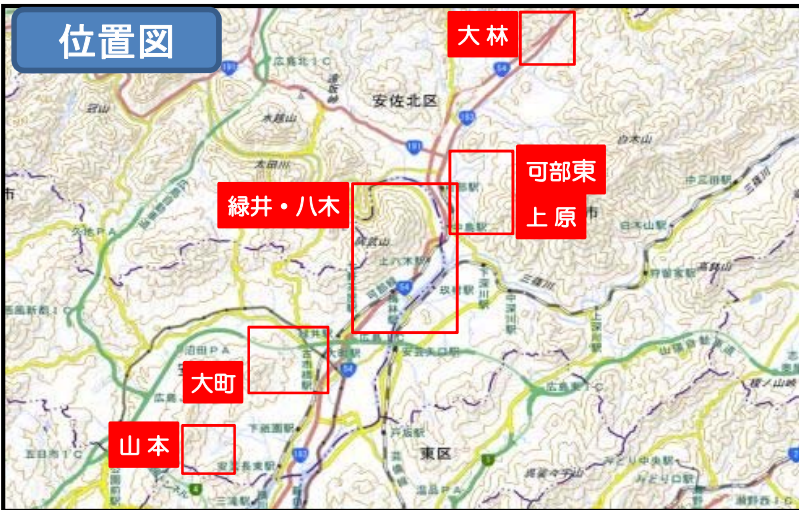
303溪流上流堰堤
の大きさ
堰堤長:94m
堰堤高:14.5m

303溪流土石流堆積工
の大きさ
堆積工長:約120m
堆積工幅:約60m

303溪流下流堰堤
の大きさ
堰堤長:80m
堰堤高:6m

303溪流工事現場(R2.5撮影)
土石流堆積工の護岸を整備中

H26.8広島豪雨土砂災害に関する砂防堰堤完成数



緊急な対応が必要な30溪流において40基の砂防堰堤本体が完成。
現在、土石流堆積工や流路、管理用道路の整備を実施中。

平成26年8月広島豪雨土砂災害に関する砂防事業 (R2.5末現在)

- 凡例
- 砂防堰堤本体完成数 40基
 - 土石流堆積工整備 2箇所

※砂防堰堤完成数は流路、管理道除く